

## 地区研究発表区市について

本研究会は、家庭科研究の充実と発展を図るために、各区市研究会と相互の連携のもと研究活動を行う。

\* 現在の発表区市は、平成9年11月の委員会で承認され、平成10年度の総会で改定し、平成12年度より以下のことを配慮して運営されている。

- 1 研究会の時間を確保し、内容の充実を図るために、発表区市を地域からA・B・Cの3つのブロックに分ける。
- 2 研究発表区市が偏らないよう、毎年3つのブロックからそれぞれひとつの区市が発表する。
- 3 研究発表区市が中心となり、他区市と共同研究を行った場合は、研究に参加した全区市がその年度に発表したこととする。
- 4 発表する順番は、それまでの経過を尊重しながら、当該区市〔学区〕と都小家研で相談して決める。
- 5 発表区市は、授業公開を行う。また、年度末の研究発表会で、研究の成果を発表する。
- 6 全国大会の東京代表は、前年度の研究発表地区や東京都家庭科研究員研究発表の中から都小家研が決定する。

### 【参考】全国小学校家庭科教育研究会全国大会—東京代表の発表内容分担

\* 平成21年度に、全国小学校家庭科教育研究会より平成23年度からの研究発表内容についての指定があった。全国の発表内容が偏ることなく4つの内容項目となるよう分担されている。東京代表発表についての指定は下記のとおりである。なお、平成30年度から3年間は全国大会の準備及び実施のため発表はない。

内容A：家庭生活と家族 B：日常の食事と調理の基礎 C：快適な衣服と住まい D：身近な消費生活と環境

全国大会発表年度	全国大会開催都道府県	東京代表発表（内容：担当）
平成28年度	山梨県（11. 11）	内容A：大田区
平成29年度	石川県（11. 16~17）	内容B：文京区
平成30年度	岡山県（11. 30）	全国大会東京大会準備
令和元年度	熊本県（11. 8）	全国大会東京大会準備
令和2年度	全国大会東京大会	
令和3年度	宮城県（10. 21）	内容C：未定
令和4年度	京都府（11. 11）	内容A：未定
令和5年度	神奈川県（未定）	内容B（衣）：未定